

1. 授業の概要(ねらい)

経済学という学問は、17世紀頃の西ヨーロッパで、全国的市場が確立したのを受けて誕生した。そのため、経済学は一貫して市場を研究の主題としてきた。市場のもつ、資源を効率的に配分し、新たな商品や生産方法を生み出す力は、どのように分析できるのか、また、市場取引の導入が社会関係を流動化し、すべてを貨幣で一元的に評価することは、人間社会の経済以外の側面にどのような緊張をもたらすのか。経済学の歴史を振り返ると、これらの疑問に論者たちが様々のかたちで回答を与えてきたことが分かる。本講義では、市場と社会の関係についての経済学の多様な洞察を学び、私たちの暮らす市場社会がどのような仕組みで動いているのか、その大まかな見取り図を得ることを目指す。

今学期は、入門編として、経済学の基本的な考え方について幅広く紹介する。

2. 授業の到達目標

経済学の基本概念とモデルを使って、経済ニュースを説明できるようになる
社会問題を「トレードオフ」と「不確実性」という観点から考えられるようになる

3. 成績評価の方法および基準

平常点10%、LMSで受験するオンラインの内容確認テスト(毎回)50%、期末テスト40%。合計60%以上で合格とする。平常点は、任意提出のリアクションペーパー(こちらもLMS上で提出)の内容で評価する。リアクションペーパーについてはLMS上でフィードバックを返す。よいリアクションペーパーとは、授業内容を踏まえ、独自の考えが書かれているものである。

4. 教科書・参考文献

参考文献

松原隆一郎 『経済思想史入門』 ちくま学芸文庫
井堀利宏 『入門経済学 第4版』 新世社

5. 準備学修の内容

講義資料はLMS上に開講曜限の2日前に毎週アップロードする。事前に目を通し、よく分からないところに印をつけるなどすることを推奨する(30分/週)。

授業後は講義で学んだ内容を、目にするニュースや、自分の身近な出来事に当てはめると、どうなるのかを考えてみる。その時に気づいた疑問点や発見が、リアクションペーパーを書く際の材料になる。時間の目安は以下の通り。復習(45分/週)、経済ニュース・参考書の視聴・講読(15分/日)、リアクションペーパー執筆(60分/週)。

6. その他履修上の注意事項

講義では、日々の経済ニュースの前提にある、経済や経済学についての基本的な考え方を解説する。新聞やインターネット、テレビで経済ニュースに意識して触れるようにすると、より理解が深まるだろう。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス
- 【第2回】 経済・経済学とは何か
- 【第3回】 分業の力
- 【第4回】 経済のフロー循環と価格の役割
- 【第5回】 需要と供給
- 【第6回】 市場均衡
- 【第7回】 需給分析の応用
- 【第8回】 弾力性
- 【第9回】 労働市場
- 【第10回】 労働市場の論点:労働市場をどう規制するか?
- 【第11回】 金融市場
- 【第12回】 金融市場の論点:株式会社と複利
- 【第13回】 マクロ経済とGDP
- 【第14回】 経済政策(LMSによるオンデマンド形式)
- 【第15回】 まとめと期末テスト